



HPS Japan
Hospital Play Specialist

ニュースレター

News Letter

<http://hps-japan.net/>

2018

vol.11

Sep.

【重要】

HPS資格更新制度導入のお知らせ

2018年10月から、HPS資格更新制度を導入します。これは、HPS有資格者を対象に、3年ごとに所定のポイント数獲得を義務付け、HPSに必要な技術・技能の維持向上をはかり、子どもへの適切なケアを実現することで、社会からの信頼に応えるものです。

《HPS資格更新制度のポイント！》

◆申請の対象者◆

NPOホスピタル・プレイ協会の正会員であり、年会費の未納がないことを条件とします。

ただし、未納の場合はさかのぼって支払うことが出来ます。

◆更新の種類◆

①資格更新

HPS資格の有効期限は、取得から3年とします。HPS有資格者として職務に当たる場合は、有効期限が切れる前までに更新を行ってください。

②資格再登録

有効期限切れなどの理由で資格を喪失し、再度HPS有資格者として職務にあたる場合は、再登録を行ってください。

【更新制度導入における初年度の取扱いについて】

導入初年度に限り、1～10クール修了生は、実績の有無を問わず、更新申請を行った方には更新証を発行します。

◆申請に必要な実績ポイント◆

以下の表がポイント換算表です。3年以内に5ポイントの獲得が必要です。また、「HPS国際シンポジウム」への参加と、「HPSスキルアップ講座」への参加は、必須ポイントとなっています。

◆更新申請の受付期間◆

今年度の申請期間は以下の2回です。必ずいずれかで申請を行ってください。

第1期 2018年10月1日～12月31日まで

(審査会 2019年1月／結果通知2月)

第2期 2019年5月1日～6月30日まで

(審査会 2019年7月／結果通知8月)

◆更新の手続き◆

「HPS資格更新申請の手引き」をよく読み、必要書類の(原本1部・複製6部)計7部を郵送にてNPO事務局までお送りください。

◆審査料◆

審査料は6,000円です。受付期間中にお支払い下さい。お支払は会員専用サイト(しくみネット)からのお支払が簡単便利です。カード、コンビニ振込がご利用いただけます。

◆特例措置について◆

自身の疾病などで、やむをえず、申請できない場合は、期間延長願いを提出ください。

実績ポイント換算表	内 容		実績ポイント数
	1	HPS国際シンポジウム参加	1ポイント(必須)
	2	HPSスキルアップ講座参加	2ポイント(必須)
	3	関連学会出席	1ポイント
	4	学会発表(ポスター含む)	3ポイント
	5	論文投稿(連名含む)	筆頭 3ポイント 連名 2ポイント
	6	院内、施設内研究会等での発表	2ポイント
	7	講師活動	2ポイント
	8	在宅支援(5回)	1ポイント
	9	ホスピタル・プレイ研究事例集掲載	3ポイント
	10	HPSの啓発普及活動(HPS国際シンポジウム&ワークショップでのWS担当、遊育支援ワークショップ等)	1ポイント

資格更新制度については、事務局より各ブロックに伺い、説明も致します！

●詳細は、「申請の手引き」をご参照ください●



【お知らせ】HPS国際シンポジウムが変わります！

今年で11回目を迎える国際シンポジウムは、新たなチャレンジとして、学会形式を取り入れ、HPS自身が日頃の活動の成果を発表しあう機会を設けます。

◆HPSの皆さんへ◆

今年度のシンポジウムでは、研究発表の要素を取り入れたものにしたいと考えています。その理由を簡単に説明します。HPS養成講座を始めた初期は、ホスピタル・プレイを学術的に論理化することよりも、ホスピタル・プレイを実際に見せることの方が、その効果や意味や価値がしっかりと伝わる段階でした。

今でも、そのような側面はあると思いますが、一方で皆さんのホスピタル・プレイの実践が広がる中で、認知度も高まり、みなさんが各方面で研究発表をおこなったり、そして事例集の積み上げなどがありましたので、今年度はいわゆる学術集会的なアプローチをすることも可能ではないかと考えるに至りました。

実践的、あるいは臨臨床的、あるいは事例を通した取り組みや研究発表を通して、ホスピタル・プレイを共有し、到達点を確認する年に出来たらと考えています。
みなさん、どうかふるってご発表ください。

理事長・松平千佳

◆テーマ

「発展し続けるホスピタル・プレイ」 -到達点を確認し、未来へ進もう-

◆日時 2019年1月26日(土)

◆会場 静岡県立大学短期大学部

◆参加費 参加無料。ただし、資料代2,000円が別途かかります。

◆内容 午前:基調講演、午後:HPSによる発表



発表者募集

◆発表者募集 口頭発表／ポスター発表募集！

[募集分野]

プレパレーション ディストラクション きょうだい支援
ツール開発 個別事例 多職種連携 ホスピタル・プレイ
導入に関する取り組み 治癒的な遊びや新しい遊びの
開発 など

[発表エントリー方法]

発表エントリーから奮ってご応募ください。(右下QRコード)

[https://docs.google.com/forms/d/1JKla3Cvq7c-](https://docs.google.com/forms/d/1JKla3Cvq7c-dj1sBqhsjmYK-MJF8etydrlTRJ-yq2tQ/edit?usp=sharing)

[dj1sBqhsjmYK-MJF8etydrlTRJ-yq2tQ/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/forms/d/1JKla3Cvq7c-dj1sBqhsjmYK-MJF8etydrlTRJ-yq2tQ/edit?usp=sharing)

* 発表代表者はHPS(NPOホスピタル・プレイ協会・正会員)のみとします。

* 共同での発表も可とします。共同発表者は、HPS以外の方でも可能です。ただし賛助会員への登録が必要です。

* 口頭発表の方…持ち時間は20分です(発表15分・質疑5分)

* ポスター発表の方…持ち時間は60分です。

基調講演・スキルアップ講座
の内容は決まり次第お知らせ
します。

◆まずはご予約ください◆

1月26日(土)HPS国際シンポジウム
1月27日(日)スキルアップ講座



皆様のエントリー
お待ちしております。
ご不明な点は事務局まで
Mail info@hps-japan.net

シンポ資料代・資格更新料などお支払に関するお願い

●業務簡略化のため、よろしければシクミネットからのお支払をお願い致します。

※ログインID・パスワードが不明な方は、NPO事務局(info@hps-japan.net)までお問合せ下さい。



SMA家族の会×HPS Japan × ICT救助隊
ホスピタル・プレイ
遊育支援ワークショップ in名古屋

8月26日、名古屋市にある南生協病院で遊育支援ワークショップを行いました。参加者は117名。午前の部では、「病児・障害児から子どもに戻すホスピタル・プレイ」と題し、松平千佳先生による講演がありました。講演では、なぜ子どもに遊びが必要なのか、たくさんの動画を交えお話されました。また、午後のワークショップも大盛況で、子どもたちの笑顔や親御さんの笑顔に触れ、改めて遊びの力を感じた一日となりました。



◆松平先生の講演◆

「ICTを導入する前に、遊ぶことで、人とつながっていきこうと思える力（意欲）を育てることが大事ですね」



◆関西ブロック◆

「キラキラふうりんづくり」
 何色にする？子どもが選択して、色や形を決める場面がたくさんありました。2つ作りたい！というやる気満々の子どもいて親御さんはタジタジ。

◆関東ブロック◆
 「ぶよぶよボールすくい」
 子どもたちに大人気！いくつすくえるかな？ひんやりぶにぶにとした感触がやみつきになる子も。



◆10クール◆

「Happy&Play Photo」
 まるで写真館のような本格的な撮影機材にびっくり！お花のブーケや髪飾りをつけてパチリ！手作りのフレームをつくって完成です。すてきな記念写真

◆名古屋ブロック◆

「くらネタリウム」
 暗幕の中では、いろんな光に混じってクラゲの映像が。みんな、ゆらゆらリラックス。雰囲気が入って、繰り返し立ち寄る親子の姿や、暗幕の中で魚釣りを始める子もいました。

◆静岡ブロック◆

「スイッチあそび」
 ICT救助隊とのコラボ企画として、スイッチ制作会も行われました。会場の一角にはスイッチあそびのブースも置かれ、子どもたちが様々な機器を手にとって遊んでいました。

この事業は、公益社団法人日本歯科医師と日本財団が共同で運営する「Tooth FAIRY(歯の妖精)」の支援を受け実施しました。



歯の妖精からの贈りもの
TOOTH FAIRY
 トゥース フェアリー

公益社団法人
 日本歯科医師会

Supported by

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

NPO法人日本ホスピタル・プレイ協会
 ～すべての子どもの遊びと支援を考える会～
 〒453-0041 名古屋市中村区本陣通5-6-1
 地域資源長屋なかむら1階
 TEL&FAX 054(202)2652
 Mail info@hps-japan.net
 事務局 南 伸予、木村 尚子

HPS Japan 静岡県立大学短期大学部
 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿2-2-1
 TEL&FAX 054(202)2652
 Mail hps-japan@u-shizuoka-ken.ac.jp
 事務局 高橋 伊津美、増本 芽久美



HPS Japan
 Hospital Play Specialist